

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和7年3月21日

提出区分	実績	整理番号	11	課題区分	C
横断的な課題	人口減少下における持続可能な地域づくり				
地域重点政策	人口減少下における持続可能な地域づくり				

木曽地域振興局

実施機関	木曽地域振興局	担当課	所属	木曽農業農村支援センター 農業農村振興課
事業名	木曽地域農産物認知度向上事業		電話	0264-25-2220
			E-mail	kiso-nosei@pref.nagano.lg.jp

事業の概要等	目的 (目指す姿)	木曽郡内で生産されている特産物(すんき、そば、木曽牛)の生産者の生産意欲の向上と生産の継続を目的とし、東京・名古屋・大阪事務所管内及び県内において、「すんき」、「そば」、「木曽牛」等のPRを実施し、大都市圏等での認知度向上と、消費拡大を図る。		
	現状と課題	<p>1 現状</p> <p>(1)生産者の高齢化により、木曽郡内の農産物の生産量は年々減少傾向にある。</p> <p>(2)観光客が増える中で、生産者・加工事業者からは木曽で生産されている農産物の認知度向上への期待が寄せられている。</p> <p>(3)県内でも「すんき」などの知名度の向上が求められている。</p> <p>2 課題</p> <p>(1)木曽の農産物の認知度を向上させ、持続可能な産業とすることが必要。</p> <p>(2)観光と農産物(食)を連携することにより、「食」を誘客の目的の一つにすることが必要。</p> <p>(3)県内での認知度を向上させ、新規消費者層の確保が必要。</p>		
	内容 (変更後の内容)	<p>○木曽地域振興局総務管理・環境課、商工観光課及びすんきブランド推進協議会等と連携し、銀座NAGANO、中日ビル、ららぽーと甲子園において、御嶽山安全登山のための啓発(銀座NAGANOのみ)を行うとともに、木曽地域の「魅力」として、農産物及び観光等をPRし、認知度向上を図る。</p> <p>○すんきブランド推進協議会等の農政関係団体と連携し、県内(長野市ほか)において木曽地域の農産物をPRし、県内での認知度向上を図る。</p> <p>* 木曽地域の農産物の試食販売、ポスター掲示、チラシ配布、観光PR、安全登山啓発等を実施予定</p> <p>○昨年度評価の高かった「すんきアルクマシール」の作成</p> <p>【変更】</p> <p>・銀座NAGANOが改修中であったため、事業規模を縮小し、中日ビルでのイベント回数を増やした。また、県内のイベント会場を変更した。</p> <p>各イベント参加人数(職員、講師ともに)が当初の予定から変更したほか、試食品等の実施内容に変更があった。</p> <p>・アルクマすんきバージョンのシール、パンフレットが非常に好評であり、予定枚数より増刷することとなった。</p> <p>【変更】</p> <p>・出張者の変更による再配当先の変更</p>		
	事業期間	令和6年6月	～	令和7年2月

(単位:円)

事業費等	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考
事業費等	県外における認知度向上事業	・東京、名古屋、大阪各1回実施 ・観光PR(商工観光課) ・農産物の試食販売、PR	274,243	職員旅費89,490円、消耗品168,486円、配送料4,000円、使用料12,267円
	県内における認知度向上事業	・農産物の試食販売、PR	70,954	職員旅費8,540円、消耗品43,214円、使用料19,200円
	資材の作成	・アルクマシールの増刷 ・木曽の農産物PRパンフレットの作成 ・スタッフジャンパー作成	509,300	アルクマシール増刷275,000円、パンフレット作成151,250円、スタッフジャンパー作成83,050円
合計			854,497	

指標状況及び達成	成果指標		目標値	成果	達成状況
	県外PRブースへの来場者数		300名	2,175名	● 達成
	県外PRでの木曽農産物の認知度アンケートの回収数		90名	510名	○ 一部達成 ○ 未達成

事業実績・成果	1 県外における認知度向上	(1)実績 今後、事業者が意欲的に実施できる場所を検討するため、県外3カ所で実施した。ららぽーと甲子園では、事業者参加はなかったが、中日ビル(10月)は5事業者、中日ビル(1月)は2事業者、銀座NAGANOは3事業者が参加した。特に、中日ビルは、来場者数の多さから、次回販売会参加を希望する事業者が多かった。また、そばの認知度は高いものの、他の農産物の認知度は低かったため、今後も継続して木曽地域の農産物をPRする必要があると感じた。
	(2)時期	ららぽーと甲子園(8月)、中日ビル(10月・1月)、銀座NAGANO(12月～2月)
	2 県内における認知度向上事業	(1)実績 今後、事業者自らが実施できる体制(場所・使用料等・来場者数)を考慮し、場所を設定した。2日間合計 854件、約75万円の売り上げとなり、事業者の満足度も高く、次年度以降の実施にも意欲的であった。
事業実績・成果	(2)時期	令和7年1月(松本市立博物館) 2日間
	3 資材の作成	(1)実績
	(1)実績	・販売会等に必要な農産物パンフレットやシールを作成し、販売会やPRイベントの際に配布した。パンフレットやシールは人気が高く、増刷を行うこととなった。販売会参加者の意識統一のため、スタッフポリシャツとポロシャツに印刷する農産物のデザインを作成した。
今後の方向性	(2)時期	デザイン作成(7月)、ポロシャツ作成(8月)、その他シールは随時作成
	作成した資材等は、今後も県内外PRイベント等のイベント時に使用し、効果的な木曽産品PRを行う。また、地域の主体性を高めつつ、今後も販売会やPRイベントを継続していく。	